



吉備中央町

議会だより

第33号

平成25年7月20日 発行

発行／岡山県吉備中央町議会
〒716-1192

岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2

TEL.0866-54-2081

FAX.0866-54-1366

編集／議会広報編集委員会



TOPICS

- スクールバス取得を議決…………… 2
- 道州制導入に反対…………… 2
- 6議員が町政を問う…………… 4

空き地からエネルギーを

スクールバス取得を議決 6台で9,907万円

6月定例会

6月定例会は6月10日開会。一般会計の補正予算、農業集落排水事業特別会計の補正予算、条例改正4件、繰越明許費の報告2件、関係法令改正に伴う条例の専決処分2件、請願2件が上程された。

一般質問は20日に行われ6人が質問した。25日の最終日に条例改正1件、工事請負契約の締結1件、スクールバス取得契約1件、請願採択に伴う意見書2件、道州制導入反対の意見書の発議を追加上程。それぞれ質疑を行い、原案どおり可決閉会した。

一般会計

一般会計は4500万円を追加補正し、総額が84億5500万円となった。おもな追加は24年8月災害復旧事業1250万円。3月の大雪によるピオーネ棚などの被害助成金456万円。水田農業担い手支援事業補助金978万円など。



装いも新たに

おもな議案

国民健康保険税
条例の一部を改正

関係法令の改正に伴

い、特定継続世帯の税率を改正。

ラバーニスト小森の里条例を改正

平成6年の開業以来値上げなく頑張ってきたが、灯油などの経費増で宿泊料金、浴室利用料金を値上げ。

工事請負契約の締結

新設加賀中学校改修の給食配膳室など第2期工事を指名競争入札により、9765万円で中村建設(株)と契約。

スクールバス取得

新設加賀中学校の通学用スクールバス大型3台、中型3台を、指名競争入札により、9907万円で岡山日野自動車(株)と契約。



夢が広がる改修工事

請願2件を採択

国に対して最低賃金引上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出を求める請願。採択(全員賛成)

「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」提出を求める請願。所得税法第56条事業者の配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いは必要経費に算入しない。採択(全員賛成)

国へもの申す

●デフレ不況からの脱却と地域経済の振興に向けて最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書。(全員賛成)

●所得税法第56条の廃止を求める意見書。(全員賛成)

●道州制導入に反対する意見書
道州制導入の議論は、町村との議論も説明もなく、地方分権・地方自治の精神にも反する。
導入されれば、住民と行政の距離が遠くなり、住民自治が衰退してしまう。
吉備中央町は町村の存在を否定する道州制の導入には断固として反対する。(全員賛成)

ピックアップ 議 ピックアップ

業者を指導し、早急に完成を目指したい。

管理料の取り扱いはどうなっているか。また、ホームページには休業中の記述がないがなぜか。

指定管理者が替わる際に、職員の研修と施設整備のため休みたいとの申し出があり、やむなく認めた。指定管理料は以前より200万円減額している。

利用料金が一括値上げとなっているのはなぜか。
主な理由は燃料費の高騰。平成6年の開業から料金改定をしていなかった。経費の中で光熱費の割合が大きく、今回改定を行った。

問 震災対策農業水利施設整備事業の申身は。

町が管理しているため池のうち、2ha以上の受益のある池について、震災があった際の被害状況を予測調査するもの。

3カ月も休業している。指定

休業の告知をするように業者を指導していたが、不十分だった。

廃棄物減量等推進審議会条例

町の人口が減っていく中、ごみの減量を審議する委員会の必要性があるのか。

ごみを取り巻く環境が変わり、資源化を含めた減量が必要ではないかと思われる。将来への長期計画が大切なので、広く意見を求めたい。

一般会計補正予算

農林業費の農業振興費はぶどう棚とのことだが、場所。

JABひくのピオーネ生産部会から要望があった、上竹、吉川、田土のぶどう棚、雨よけ、灌水設備。

農業振興費の委託料(地域資源活用販路拡大事業)は何か。

旧ストックファームのアイスクリーム製造装置を用いて、ブルーベリー、ピオーネ等を使ったアイスクリームの製造を再開するため。

災害復旧の主な場所はどこか。なぜ2回も繰越が必要になったのか。
美原と尾原の井せきが遅れている。原因は、業者が事業を縮小しているため、下請けを含め人的に対応できなかった。



1日も早い復旧を



特産品加工に役

保健衛生費の環境衛生費(手数料)は、何の環境調査か。



石井 雅之 議員

問 在宅医療推進の窓口設置は 答 連絡会議等で情報提供したい

問 近年、太陽光発電の開発が進み、一般家庭や企業で活用されることが多くなってきた。これも節電や環境に優しいことで実行していくことが本意だと思ふ。

答 山本町長

医療・福祉・介護関係者と共同で研修会、連絡会等を実施している。個別案件には情報交換や意見交換を行い、見守りネットワークを具体化していきたい。

問 町では、高齢化の進行に伴い、医療費が高騰し、国保特別会計も危機的な状況にある。

その対策として、在宅医療の推進が示され、行政や、医療・福祉関係団体が一堂に会する検討会等が行われるようになっていく。

その協議の中で、医療側から、個別の案件に関する情報を一元化した受け皿的な窓口の設置はできないかという提案があった。

多くの組織の持つ情報を共有できる対応が求められると思うが、町の考えはどうか。

答 土居福祉課長

包括支援センターへの相談件数は1877件。また、戸別訪問等で実態把握に努めている。



情報の共有で在宅支援

体制づくりの検討会や研修会を開催し、情報共有を図っている。

問 相談窓口一本化を

答 報道によれば、悪質な詐欺がますます横行しているとのこと。

町民を対象とした相談窓口が各種あるが、その周知はどうなっているか。また、担当する各課を一本化した対応はできないか。

平日の日の中の時間では、行けない人もいます。早めの告知を、例えばホームページや、「くらしのカレンダー」へ

ここが聞きたい

6人が一般質問



西山 宗弘 議員

太陽光発電での経費削減は

問 町として活用を検討する

は下がることはなく、一方的に上がると考えられる。原発廃止などいろいろな問題が絡み、電気には随分経費が必要となると考える。経費削減のためにも取り入れたらと考えるが、町長の見解を伺う。

もよく、子育てにもよい町であり、町長も子育て支援には力を注いでいる。しかし、子ども達が遊ぶ場所がない。学校のグラウンドや公民館はあるが、いずれの場所も制約があり支障がある。

行政として児童公園を設置するのも子育て支援の一環と思われるが、町長の考えを伺う。

答 山本町長

町内の多くの町有の建物について、耐用年数、構造、利用形態等々を考慮して、活用方法を検討していきたいと考えている。

問 児童公園の設置について

自然豊かな吉備中央町は環境

答 町長

放課後や休日、子ども達が自力で友達の家に行き来して遊ぶには、相当条件のいい地域でなければ難しく、子ども同士の交流の場となっているのは、放課後子ども教室

問 災害対策について

答 津島教育長

学校のグラウンドは教育活動の支障にならない範囲で自由に使用して頂いて良いと考えている。

答 町長

被害等の事前対策は、担当職員によるパトロールにより、危険箇所の把握に努めている。また、個人所有の農地や施設は、受益者による地元管理をお願いしている。地域の方と職員が共同作業で思いをひとつにして、危険箇所の把握に努めていくよう指導する。



大雨の爪跡

の掲載で行うのが有効と思うがどうか。

答 町長

近年、特殊詐欺や悪質商法被害は多様化、深刻化しており、憂慮される。その対策として、岡山北警察署、町社会福祉協議会と被害防止対策の協定書を取り交わした。

相談窓口は、まず住民課に行っていた。また、その内容で振り分ける対応をしたい。また、総合窓口対応の検討をしている。

答 福祉課長

込み入った相談には役場が出向く形が良いと思う。また、各関係者の協議会が作れば良いと思う。

答 鴨崎住民課長

昨年度、町内公民館、各センター等で行った消費生活相談19件、人権・行政相談27件、心配事相談26件の実績だった。他にも福祉相談を行っている。周知は町の広報誌にできるだけ掲載するよう努め、「くらしのカレンダー」にも極力掲載するよう努めたい。

家族を被害から守ろう！
～ほとんどの家族に相談せず、多額の被害に遭っています～

「社債・未公開株」等有価証券

- パンフレットを送りつけた後、電話で勧誘する。
- 複数の者が同様の投資話を持ちかけ、「今すぐ」などと急がせる。
- 「調べた人しか送っていない」は詐欺！
- 「名簿を貸して」「お礼します」は詐欺！
- ※「原簿の返却」の期入を勧誘する者が急増しています！

「外国通貨」

- アフガニ（アフガニスタン）スーダン（スーダン）などの国を模した通貨を勧誘する。
- 「今後、絶対、値が上がる」は詐欺！
- 「〇〇国で買えば十数万で買える」「〇〇国で買える」は詐欺！

「出会い系」や「女性紹介」

- 会員登録をさせてポイントを買わせ、女性との会話を勧誘する。
- 「相手から「金欲しい」と言い、実際に金を出して「相手と会える」と約束する。
- ※「相手の写真」の購入を勧誘する者が急増しています！

ギャンブル必勝法

- 「パチンコのサクラ」名目で悪質な詐欺、金銭を勧誘する。
- 「最新のシステム情報」を勧誘する。
- ※「最新のシステム情報」を勧誘する者が急増しています！

大きな落とし穴が...

- 「お金の相談」「その会社は大丈夫です」などと勧める。
- 交渉中に、急に「金を出さないと、刑務所に入る」と脅かす。
- 「金を出さないと、刑務所に入る」と脅かす。
- 話を断ると「警察に連れて行く」と急に態度を変える。
- といった悪質な手口も増えています！

警察等の官公庁が特定企業を「優良」などと勧めることは絶対にありません！

「おかしいな」と思ったら、まず相談を！！

岡山県警察
県警ホームページより



日名 義人 議員

問 吉備高原都市の今後は 答 都市部の一体化促進を

②都市部住民の交流促進（祭の一体化や多彩な交流）で一体感の醸成を。小学校の地域開放の部屋、コミュニティハウスの利用もある。盛り上がりによって吉備プラザに設置も含め検討する。



町の核になれるか

問 合併直後の「財政危機」、経済危機対策（一括交付金）で一息。が安倍内閣は平時へ戻ると言う。合併10年後には合併特例は段階的に縮小へ。TPP参加なら

問 今後の住民会総会へ町長は積極的参加と見受けた。その感想を。

答 町長 目安箱への投書は60件近い。それぞれに自分の言葉、または担当課と調整し「即実行・解決へ」と対応している。

答 山本町長 都市部の一体化は重要。①住居表示変更は住民合意できれば町は調整する。自治組織の件は自治組織検討委員会で研究検討したい。

問 住民積年の願いでもある都市区域の一体化促進を。①共通の住居表示と自治組織の一体化。②一体的活動拠点としての公民館設置を。③高齢化進行下、都市機能の再点検を。

問 ③「吉備高原都市を町の中心・核」とした町づくりの考えは不変。総合計画でも重点課題とし、県の計画との整合性も踏まえ進める。

答 町長 生協、ヤクルト、ネット販売などの利用も進んでいるが、環境整備はまだ不十分で買い物で苦労している住民は多い。始めに「移動販売ありき」でなく、地域で何を必要とし、何が地域にあったものか工夫がいると思う。

答 町長 町の財政状況はわずかながら好転。今、向こう5カ年の財政運営適正化計画を策定し、予算編成・普通建設事業の策定に有効活用している。今は財政状況に注意を払い、新たな計画策定は考えない。



期待を背に受けて

答 町長 いろいろな方と話したいと3、40箇所総会に参加。そこでは地域のことで気づいていなかったことが聞けた。これからは広報・町HPで「一定人数の集まりへの参加とそこでの談義」を呼びかけたい。



森下 誠一 議員

問 空き家条例を制定すべきでは 答 コミュニティーの構築を

問 昭和30年を境に人口減少が留まることなく続く。人が減ると空き家ができる。すぐ隣が空き家になり、何年も放ったらかしになった。荒れ果てた空き家には草木が茂り異様な状態で景観も悪く、変な生き物が住み、近所は大変迷惑である。

問 町では空き家の戸数、倒壊の恐れのある戸数など把握し、管理



どうしたらいいの？

問 耕作放棄地の雑草除去条例 耕作放棄地の雑草が生い茂り、雑木が大きくなり、隣地の田畑や民家の持ち主が大変迷惑している。また、ヌートリアやウサギなどの有害鳥獣が住み、隣地の田畑に多大な被害を与えている。

答 町長 受け継いだ農地の荒廃が景観を壊し、有害鳥獣の住みかにもなり憂慮される問題となっている。食の確保と国土保全の使命があり、遊休農地の現地確認時、指導を行っている。

答 小室農林課長 農地面積2805畝で耕作放棄地面積666畝となっている。農業委員会が遊休農地の現地確認時、指導を行っている。

放棄の空き家を、景観や防犯などから現在どのように対処しているか。

答 山本町長 全ての空き家情報は把握していないが、定住促進課で収集している。空き家の危険性を所有者に認識して頂き、他の人に貸し管理を継続するのが最も良いと思う。

答 大塚企画課長 空き家の条例化は全国では100近くの自治体できている。その他の自治体では建築基準法で対応しているが、課題もあり条例化が加速している。今後は危険度が高い家屋や景観上問題があるものは指導を行う。

問 条例化は、県の方針が示されていないので計画はない。

答 町長 農業委員会から町が要請を受けて、雑草の茂り具合を調査し、草刈をするように指導勧告する。地権者が従わなかった場合、町が草刈を実施し費用は地権者に請求する。



有害鳥獣のすみかに

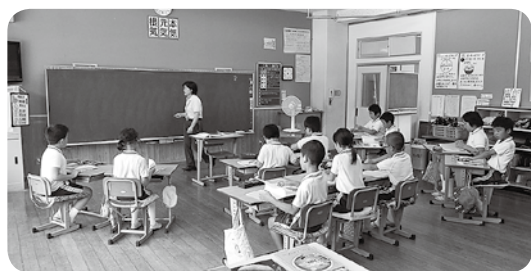


松井 建治 議員

問 少子高齢化が進み、幼児・児童の数が減っている。平成25年5月現在、町内の4～6歳の園児は198人、小学生508人、中学生は286人でほとんどの年代で100人を下回っている。低年齢ほど少なくなっており、4～5歳児では70人以下になる。少子化に伴い、一部複式学級が始まり、今春より町内の2小学校で完全複式学級

答 山本町長 ①少子高齢化で複式学級になっていることに対し、必ずしもデメリットばかりではない。少人数学級なのできめ細かい指導ができる。また、上級生が下級生を助けるなど、良い点もある。
②将来的には統合する必要があるが、当面は現在の方法を続ける。

答 津島教育長 ①少人数学級だと団体競技ができず、子どもの社会性を育成しにくい。転校した時、未学習の範囲があるなど、不利な点があるが、上級生が下級生を助け、リーダーシップを発揮できるなどの



少人数でも実り多し

問 複式学級のあり方はどうか

答 良い面もあれば悪い面もある

メリットもある。
②複式学級をできるだけなくすため、町費による非常勤講師を活用する。
小学校の統合について、地元からの要望があれば考えるが、当面は中学校の統合について力を入れる。

問 放課後授業の開設について

答 ①今春実施済み
の小六・中三対象の全国学力テストの結果について。
②吉備学プロジェクト（吉備中央町学力向上計画）の効果について。以上の結果を知りたい。
次に、放課後授業の開設、公民館に要請している土・日曜日の学習教室への参加数や費用・資格等について尋ねる。



友情をはぐくむ

また、振替休日なしの土曜日授業の実施や県補助の放課後サポーター事業を開始する。
公民館の学習教室は大和・吉川そして御北の公民館が行う予定で、費用は公民館費で賄う。指導者は教える力があれば資格は特に必要ない。

答 教育長 ①小六・中三対象の全国学力テストの結果はまだ出ていないので返答できない。
②吉備学プロジェクトは、平成20年度から25年度の5年間となっており、結果をまとめた報告は出ていないが、学力は向上していると思う。



広いグラウンドも淋しそう



難波 武志 議員

問 健康寿命延伸の取り組みは

答 住民の自覚と積極的な検診

命の差を短縮する取り組みが、生活の質の向上とともに社会保障負担の軽減にもなると考えるが、現状と今後について伺う。

答 山本町長 町民一人ひとりが生き生きと健康で、生きる喜びを感じて生活できる健康寿命が延伸できるよう保健活動は重要な役目であると考えている。保健課では乳児から高齢者まで、生涯にわたり健康づくりの支援を行っている。

答 瀬尾保健課長 生活習慣病予防をはじめ、心の健康



長寿は健康から

づくりなど全ての取り組み、また、健康増進、疾病予防が担う役割は大きく、それに加えて疾病の早期発見など、さらには介護予防、介護サービスなど様々な取り組みが健康寿命の延伸に繋がる。健康は目標でなく、目標達成の手段と考えている。

弱者救済の対策は

問 少子高齢化、核家族化が急速に進み、高齢者だけの家庭や高齢者の独居家庭が急増し、日々の生活にも苦勞している人たちが増えている。このような家庭では自力での移動手段もなく、病院や商業施設などへの交通手段にも多大な費用が必要となつてい

る。
町として交通弱者や買い物弱者の現状をどのように捉え、今後の

町民皆様方が健康意識を高めて頂き、行政と一緒に健康づくりに取り組み、元氣な長寿社会の実現、ひいては健やかで心豊かに生活できるよう努めていきたいと考えている。皆様のご協力をお願いしたい。

答 町長 都会に比べ交通の便が悪いので、高齢者だけでなく免許証を持たない方は大変苦勞をされている。

交通対策、買い物対策いづれも重要なことで、それぞれ地域の実情や必要性をよく検討し行うことが一番大事と考えている。

答 山根総務課長 町では、幹線部分については路線バスを運行し、それ以外の町域は柔軟に対応できるタクシーが有効と考え、65歳以上の方を対象にタクシー料金3分の1補助やデマンドタクシーの運行を開始している。昨年10月から加茂川地区全域で利

用できるようになっている。今後、賀陽地域でも地域の意見に耳を傾け、地域の実情にあった施策を検討する。

答 岡崎協働推進課長 買い物弱者に対する取り組みとして、本年度は御北地区でモデル事業として実施する。今後、概要が整った時点で国や県の補助事業申請への検討をする。



今夜のおかずは？

総務常任委員会

請願審査・報告

6月12日
総務常任委員会を全員出席のもとで開き、付託案件2件の審査、定住促進課からの報告を受けた。

①夢のある町定住奨励金・空き家バンクの状況など・婚活対策事業・移住体験ツアー。
②企業誘致及び立地
③雇用促進
④大阪事務所との連絡調整

◎請願第1号、国に

対して最低賃金引

き上げ、中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出を求める請願。

審査の結果、全員賛成で願意妥当

◎請願第2号、「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」提出を求める請願。慎重な審査の結果全員賛成で願意妥当

◎定住促進課の事業についての説明。次に住

民生文教常任委員会

国保税・条例協議

5月27日、新設中学校開校推進委員会の後、委員会を開催し、最初に保健課より、5月23日に行われた国民健康保険運営協議会で取り上げられた平成25年度国民健康保険税についての説明。次に住

民課より廃棄物減量等推進審議会条例についての説明を受け、その後、質疑や協議を行った。なお国保税は、本年度も据え置きである。



庁舎が憩いの場に

共施設に設置してあり、主に公園や街路灯の一部へ電力を供給している。今後町民に対し環境への関心を高める一助としており、新

議会臨時会

5月8日第3回議会臨時会が開かれた。会期は1日。議案は新設加賀中学校のスクールバス大型3台・中型3台購入の一般会計補正予算1億2千万円の1議案。

一般会計総額は、84億1000万円となる。

委員会の動き

産業建設常任委員会

視察研修

平成25年6月4日から5日の日程で、高知県梼原町で視察研修を行った。

梼原町は人口約4千人の高原の町で、森林が90%を占める山村であり、林業の盛んな土地柄のため、町の公共

施設は木材を多く使った建築となっている。梼原町は、エネルギーの地産地消に取り組んでいるところから、視察先に選んだ。梼原町は、「光・水・風」の自然エネルギーに取り組み先進地である。太陽光発電、ミニ水力発電、風力発電によって、町内企業、家庭、公共施設等で使用する電気エネルギーを将来計画として100%を目指し、現

在は28%を供給している全国でも有数の町である。



風もエネルギーに

まず風力発電は標高1200mのカルスト台地の頂上に2基が設置されている。年間380万kwhの発電を想定して、町内家庭で使用する電力量40%をまかなう設計とのことである。

ミニ水力発電所は3カ所あり、発電した電気は学校と温水プールに供給しており、余電力は四国電力へ売電している。

追跡

あの時の質問 どねんなった？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。
(平成23年9月定例会の質問)



質問

図書館利活用の拡大方法と、郷土史関係の古文書コーナー等設ける考えは。

答弁

町内の公民館などを回る図書の配送システムを検討、古文書は順次充実させ、要望に応えたい。

その後（教育委員会）

配送システムは24年度に実施済み。古文書については、収集に努めている。

質問

町内の公共施設の耐震化は。

答弁

公共施設の耐震化は、次期地震防災緊急事業5カ年計画の中へ盛り込みを検討中。

その後（教育委員会）

吉川中学校体育館は23年度整備済み。25年度に上竹荘小学校校舎及び屋内運動場の耐震設計業務委託を予定している。

シリーズ 地域で活躍する 人たち No.3

レーシング カートチーム 「ライナース走行会」

親子で、安全に楽しく
カートに乗る会

岡山県には中山サーキット（和気）岡山国際サーキット（英田）の2カ所のコースがあります。

子供と大人の混走で、スピード感もあり、



一瞬にして、大事故になりかねません。

サーキットでは走行料金も必要です。

そんな中、私が27年ぐらい前にミニバイクを走行するために、個人コースを建設したことをチームの皆に話したところ、ぜひ走らせてほしいとのこと、

チーム員が協力して、整備しなんとか復活することができました。

現在は時々親子で楽しんで走行しております。

子供の成長と上達する姿を見ていると、とても嬉しく思っています。

何人もの子供達が成長し、今レースで活躍しております。

あの当時の幼なかつた子供が大変大きく見



えます。

ぜひ、吉備中央町にすばらしいコースを作ってもらい岡山県、いや吉備中央町から将来F1レーサーが現れることを!!

若者が楽しめる場所をぜひ実現したいものです。

（豊野 常光則良）

豊岡川愛護会

豊岡川愛護会は、約30年前に豊岡地区の有志で設立された。現在活動している会員は8



人。
設立当初は、豊岡川の環境保護を主な目的とし、河原の草刈り補助金を元手に、鮎の放流などを行っていた。近年は資金難や鳥の害のため、魚の放流は中止している。

また、これも当初より、シジミを川に放流して、幼稚園児にシジミ取りの体験をしてもらう活動も続いている。一番多いときには140人を超える園児がいたが、今は加茂川

エリアの4幼稚園年中組全園児で25人前後と淋しくなっている。今年も雨天のため、豊岡いきいきプラザで笹舟や竹とんぼ作りの体験を行った。

他には旧瀬戸町で借りて栽培しているビワの実を幼稚園に配る活動もしている。

幼稚園からは「地域の人たちと行事を通じてつながることができる」と喜んでらっている。

（大木 小林昭（談）



編集後記

梅雨入りとともに雨降らずかと思いきや豪雨となり、異常気象が続いている。災害が心配される。参院選も始まった、国政も晴れるか。

わが町も晴れやかな日を待ち望んでいる。災害のない明るい町を祈りつつ、原稿に汗する広報委員会、議会の皆さまのご意見ご感想、お待ちしております。

（中野 進）

